

土壤に関する記述のうち、正しいものはどれか。

1. 土壤がもつ緩衝能のうち、温度変化の幅を小さくする物理的緩衝能は、土壤の種類や田畑の状態にかかわらずほぼ一定である。
2. 土壤がカリウム、カルシウム、マグネシウムなどの陽イオンを保持することができる量（陽イオン交換容量）は、土の種類により異なり、一般的に腐植の多い土壤の方がこの値が小さい。
3. 作物は、特定の範囲の pH のもとでよく生育する傾向があり、多くの作物での適正な土壤の pH は 7.5～8.0 の弱アルカリ性である。
4. 土壤の団粒構造を発達させるためには、堆肥などの有機物を混ぜ、腐植を多くするとともに、耕起して土壤中に空気を入れ、小動物や微生物の働きを活発にすることが効果的である。
5. 有機物施用や深耕による土壤の物理性の改善は、化学性や生物性の改善にはつながらない。

草花の園芸的分類に関する記述のうち、正しいものはどれか。

1. 花・葉・実・枝などを鑑賞する木本植物を観葉植物とよぶ。
2. 種子をまいてから、1年以内に開花・結実して枯死するものを一年草という。
一年草は、秋まき（耐寒性）と春まき（非耐寒性）に分類される。
3. 植物体の全体、あるいは、地下部が越冬して、毎年成長サイクルを繰り返す耐寒性のある草本を二年草という。
4. 地下、または地ぎわの葉・茎・根が養分をたくわえて肥大し、多量の養分を含むグループを宿根草あるいは多年草という。
5. 茎葉が鑑賞の中心となる、熱帯・亜熱帯原産の草本及び木本植物を枝ものとよぶ。